

医療資源の疎な地域でのてんかん診療連携 てんかん相談支援における てんかん診療コーディネーターの役割

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

てんかんセンター長 高橋 章夫

てんかん診療コーディネーター 山浦美和子、狩野未樹、岩丸 樹

2024年度 第2回全国てんかん対策連絡協議会 2024.12.22(WEB)

渋川ってどんなところ？



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

| | |
|--------------------|-------------|
| 医療法承認病床数 | 450床 |
| 一般 | 294床 |
| (HCU4床 緩和ケア25床を含む) | |
| 結核 | 46床 |
| 感染症 | 4床 |
| 重心 | 106床 |

「政策医療」と「地域医療」

- ・がん・救急医療・災害医療
- ・呼吸器疾患(結核を含む)
- ・重症心身障害児の療育
- ・エイズ

2016年がんを中心とした急性期医療とセーフティネット系
病床をもつ**ケアミックスタイプ**の地域の基幹病院として開院

↓

てんかん 患者を診療し、地域で支えていく病院

渋川医療センターのてんかん診療体制（2024年度）

常勤医

高橋 章夫（てんかん専門医指導医、てんかん外科）
 井田久仁子（てんかん専門医、小児神経科）
 宮城島孝昭（てんかん専門医指導医、てんかん外科）
 間島 竹彦（精神科）
 井上 文孝（小児科）

てんかん外来（非常勤医）

伊部 洋子（群馬大学リハビリテーション科）
 道崎 瞳（群馬大学脳神経内科）
 黒澤 亮二（太田記念病院脳神経内科）

てんかんコーディネーター

山浦 美和子（MSW）
 狩野 未樹（言語聴覚士）
 岩丸 樹（看護師）

事務部門

管理課長 林 宏樹



診療放射線科

臨床検査科生理検査部門

薬剤部

リハビリテーション科

患者相談支援センター

5階東病棟

（てんかん・小児病棟）

栄養管理室・NST

（ケトン食療法）

連携施設

国立精神・神経医療研究センター病院
 静岡てんかん・神経医療センター
 西新潟中央病院

群馬県てんかん治療
 連携協議会

てんかん協会
 群馬県支部

てんかんセンターの主な業務

- ビデオ脳波モニタリング(多チャンネルデジタル脳波計X3, 頭蓋内脳波対応、EMU 4床)
- 3T-MRI X2, 機能画像 (SPECT, SISCOM)
- 神経心理学的評価、発達評価
- 薬剤抵抗症例の薬剤調整
- 標準的な外科治療
- リハビリテーション/社会参加・生活支援
- 3次診療施設からの患者受け入れ・フォロー
- 専門医訓練

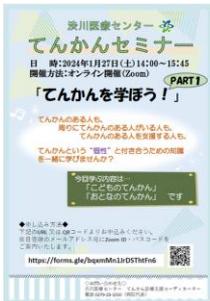
渋川医療センターのてんかん診療支援コーディネーター（3人）

てんかんコーディネーター、MOSESトレーナー）

山浦 美和子（MSW） → 他施設との連携、生活支援、市民啓発活動

狩野 未樹（言語聴覚士） → リハビリテーション、就労支援

岩丸 樹（看護師） → 入院患者対応、看護師教育、看護研究



目指すところ

「誰一人取り残さない、必要な医療
が切れ目なく提供される体制構築」

（第9次群馬県保健医療計画）

県内のてんかん患者さんに関わる地域の機関との連携体制の構築

県内のてんかん診療に関わる連携体制の構築

てんかんセンター（県内1ヶ所・てんかん診療の中心）と
して十分な機能が発揮できる

患者・家族が住み
慣れた地域でその
人らしく生活が維
持できる

⇒県外に行かなくても、県内で
必要な医療・支援が受けられる

現状

診療・相談

- ・横断的な診療
- ・専門医による治療
- ・専門医育成
- ・担当病棟看護師の育成
- ・MOSES実施
- ・相談体制の整備
- ・院内職員に対する勉強会

主に院内における
体制整備



啓発

- ・市民公開セミナー
- ・えびカフェ
- ・パープルデーイベント
- ・学校、患者会等での講演
- ・出前講座

てんかんに対してのバリア
フリー化を目指して



連携（助言・指導）

- ・地域協議会運営
- ・渋川てんかんカンファレンス（外部医師向け）
- ・全国てんかんセンター協議会への参加
- ・地域における診療への助言・指導
- ・学校や福祉施設等への助言・指導
- ・患者会への支援
- ・移行期医療における支援

2024年度からは
地域の体制整備へ

コミュニティソーシャルワーク

（てんかん診療拠点地域医療支援センター事業にかかる指標 渋川医療センターVer.）

I 相談に関する事項

〈相談件数〉

① 属性

- ①性別（男、女）
- ②年齢（0～9歳、10～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳～、不明）
- ③診療科（脳神経外科、精神科、小児科、神経内科、なし、その他）
※相談時に受診中の診療科

2）相談内容

- ①業務種別（面接、電話、その他）
- ②相談者（本人、家族、医療関係者（院内）、医療関係者（院外）、福祉行政機関、その他（自由記載））
- ③治療状況（治療前、治療中、治療後・寛解後）
- ④受診状況（未受診、当院外来、当院入院、他院外来、他院入院、不明）
- ⑤支援回数（初回相談、2回目以降） ※実人数を出すための項目
- ⑥相談内容（受診相談、病状・治療相談、運転免許・資格、就労・雇用、進学、結婚・妊娠・出産、日常生活・対応等、他医療機関・福祉行政機関への紹介、セカンドオピニオン、転科について、公的支援について、かかりつけ医について、医療関係者とのトラブル、その他（自由記載欄））

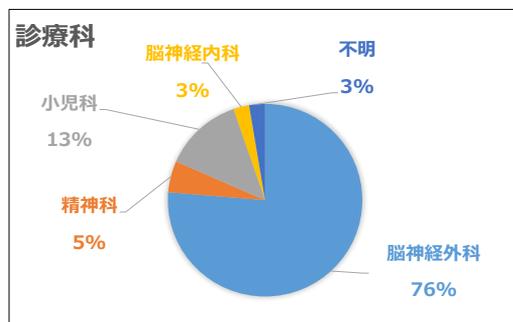
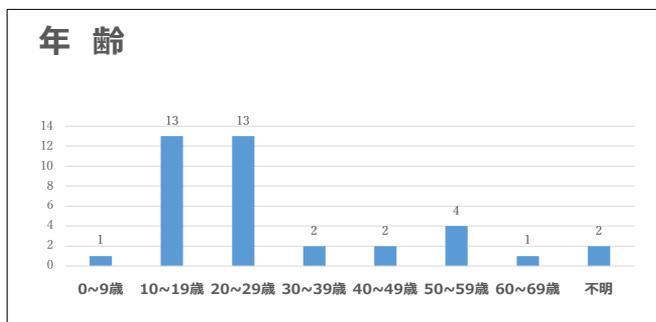
3）相談後の対応（情報提供のみ、関係機関と連携、自施設受診につなげた、苦情・要望への対応、判断不明、その他（自由記載欄））

4）対応者（氏名、職種）

5）備考

渋川医療センターのてんかん相談支援（2023年）

相談件数 38件



◇対応方法

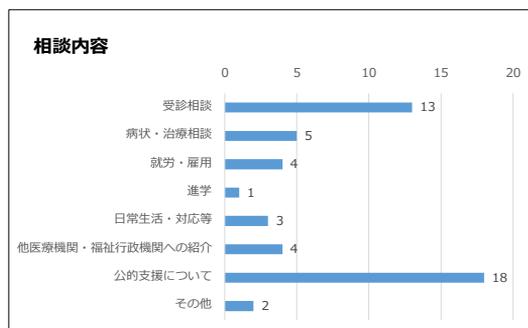
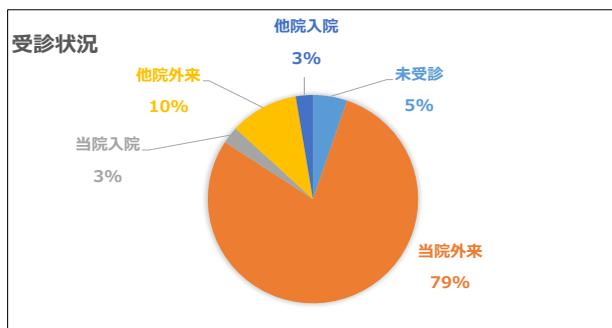
| 面接 | 電話 |
|----|----|
| 23 | 15 |

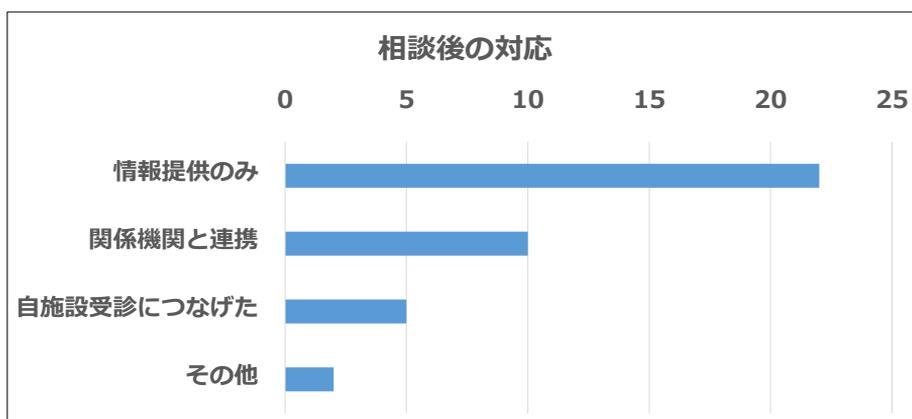
◇相談者

| 本人 | 家族 | 医療関係者（院外） |
|----|----|-----------|
| 18 | 27 | 4 |

◇治療状況

| 治療前 | 治療中 |
|-----|-----|
| 1 | 37 |





地元自治体「障がいのある人との共生社会」を目指す渋川市

総合戦略部との連携 → パープル・デーイベント

市職員が缶バッチ着用、市民ホールでのてんかん啓発動画、パネルの展示



2024.3.26 てんかん啓発の日：伊香保石段とスカイランドパーク観覧車のパープル・ライトアップ

みんなで知ろう！！

「てんかん」てどんな病気？

てんかんの定義
てんかんとは、脳が正常な状態から、突然異常な電気活動を生じ、全身や部分の筋肉がけいれんを繰り返すこと、意識障害や記憶障害、言語障害、行動異常、感情障害、精神障害、知的障害、学習障害、社会生活障害などを引き起こす病気です。

てんかんの原因
てんかんの原因は、脳が正常な状態から、突然異常な電気活動を生じ、全身や部分の筋肉がけいれんを繰り返すこと、意識障害や記憶障害、言語障害、行動異常、感情障害、精神障害、知的障害、学習障害、社会生活障害などを引き起こす病気です。

てんかんの原因
てんかんの原因は、脳が正常な状態から、突然異常な電気活動を生じ、全身や部分の筋肉がけいれんを繰り返すこと、意識障害や記憶障害、言語障害、行動異常、感情障害、精神障害、知的障害、学習障害、社会生活障害などを引き起こす病気です。

てんかんの原因
てんかんの原因は、脳が正常な状態から、突然異常な電気活動を生じ、全身や部分の筋肉がけいれんを繰り返すこと、意識障害や記憶障害、言語障害、行動異常、感情障害、精神障害、知的障害、学習障害、社会生活障害などを引き起こす病気です。

てんかん支援拠点病院 てんかんセンターです！！

2021年7月 群馬県のてんかん支援拠点病院（群馬県、群馬大学）
2021年12月 てんかんセンター（全国てんかんセンター協議会）に認定され、てんかん診療力を入れている病院です。

てんかん支援拠点病院は何か？
1 患者さん、ご家族への専門的な相談支援・治療
2 治療内容の改善・評価
3 医療従事者、関係機関職員、患者さん、ご家族に対する研修
4 患者さん、ご家族、地域社会への普及啓発活動
5 関係機関との情報共有と連携の推進のための協議会開催
てんかん診療コーディネーターを配置し、これらの業務を行います。

施設の特徴と内容と特色
・高機能ビデオ録画モニタリング・高機能MRI、機能画像による画像診断
・神経心理学的検査、発達評価
・脳機能検査の併用診療
・外科治療
・社会参加、生活支援
・てんかん専門医診療（日本てんかん学会認定研修施設）

当院での取り組み

| | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| てんかんセミナー | えひかふえ | 啓発活動 | 相談・支援 |
| てんかん患者・家族・関係機関向けてんかんセミナーを開催しています。 | てんかん患者・家族・関係機関で若い世代の方々ができる場を設けています。 | てんかんについて、少しでも理解していただけるよう啓発活動を行います。 | てんかんやてんかんについて、相談・支援を行います。 |

群馬大学 認定研修施設 群馬県てんかんセンター

MOSSESプログラム

～てんかん学習プログラム～

皆さんはてんかんについての情報が求めていますか？
そのMOSSESプログラムはてんかんについての正しい情報を得ることができます。

MOSSESプログラムの目的
てんかんに関する正しい知識の普及、理解促進、患者さんやご家族の不安の軽減、生活の質の向上、社会参加の促進、医療従事者や関係機関との連携の推進、てんかんに関する正しい情報の提供。

MOSSESプログラムの効果
てんかんに関する正しい知識の普及、理解促進、患者さんやご家族の不安の軽減、生活の質の向上、社会参加の促進、医療従事者や関係機関との連携の推進、てんかんに関する正しい情報の提供。

MOSSESプログラムの実施方法
MOSSESプログラムは、てんかんに関する正しい知識の普及、理解促進、患者さんやご家族の不安の軽減、生活の質の向上、社会参加の促進、医療従事者や関係機関との連携の推進、てんかんに関する正しい情報の提供。

Purple Day

3月26日
てんかん啓発の日

世界中で知られているてんかん啓発の日です。
「てんかんの仲間をとりまわりたい」という思いが、
世界中に広がって、啓発の日として定まりました。

Purple Dayとは
紫の日。この日は世界中のてんかん患者やご家族が、紫の服を着て集まり、てんかんについて語り合ったり、交流したり、てんかんに関する正しい知識を普及させたり、啓発したりします。
紫の日には、紫の服を着ててんかんに関する啓発活動を行います。
紫の日には、紫の服を着ててんかんに関する啓発活動を行います。

群馬県てんかんセンター
群馬大学
群馬県てんかんセンター
てんかんセンター

結 語

- ・ 当センターでの相談件数は、まだ少ない
- ・ 活動を継続し、様々な媒体を通じて広報し、県民へ周知すること、および自治体との連携が必要